

第7章 事後調査の方針

本事業の実施にあたっては、表 7-1 に示す内容について、事後調査を行うことを計画している。

工事中について、建設機械等の稼働状況を把握するとともに、建設作業騒音・振動及び道路交通騒音・振動等について、それぞれ敷地境界、工事関連車両の主要な走行ルート沿道において調査を行う。また、工事により発生する廃棄物・残土の量について集計を行う。

施設の利用については、計画建物の主な用途は住宅であり、入居者のエネルギー使用量等の状況を把握することは困難なため、事後調査は実施しない。

なお、事後調査の結果、対象事業により顕著な環境影響があると認められた場合には、関係機関と協議のうえ、適切な対策等を検討、実施する。

事後調査の詳細については、今後、関係機関と協議のうえ決定する。

表 7-1 事後調査計画

調査項目		調査時期及び頻度	調査地点及び範囲
工 事 中	建設機械・工事関連車両の稼働状況 種類・型式別の稼働台数・稼働時間等	工事期間中	事業計画地内
	建設作業騒音・振動	工事最盛期 平日 1日 工事時間帯に測定	事業計画地敷地境界 1地点（工事状況に基づき決定）
	道路交通騒音・振動 ・交通量	工事最盛期 平日 1日 工事時間帯に測定	事業計画地周辺の 関連車両主要走行ルート沿道 5地点（予測地点に準拠）
	廃棄物・残土 種類別発生量・排出量	工事期間中	事業計画地内

注：工事最盛期の時期は、工事の進捗状況等を踏まえて最終的に決定する。

(白紙)